

入寺式(入社式)

本日 新職員として佐藤誠伸さんが初登院されました。5年間のラブコールを経て三顧の礼でお迎えすることができました。佐藤さんとは永平寺時代の一年後輩でもっとも人格者と言える僧侶です。長く永平寺で修行を重ねたあとは東京のお寺で20年以上を奉職されました。その後は千葉の寺院を経て当院へ漸くお越しいただきました。東京では永平寺以上の厳しさと知られる寺院で夜明け前から深夜まで休みなく働いていたようです。まさにスーパー僧侶です。私の代わりができる人をずっと探していましたが私が知る限りは彼をおいて他にはいません。私は次の人生を考えているため葬儀・法事のほとんどは佐藤さんに依頼したいと考えています。当院は他に優秀な10人の僧侶はいますが、これで一安心です。いつでも引退ができるかもしれません。さらなる飛躍へと万全を期して臨みます。ヒト モノ カネ 情報と一級品を目指さないといけません。ヒトがもっとも重要であることは言うを待ちません。全体的に整ってきてはいます。教育哲学者の森信三は「人は一生のうちに必ず逢うべき人には必ず逢える、それも一瞬たりとも早すぎず一瞬たりとも遅すぎない時に」という名言を残されています。人の縁は絶妙なるタイミングです。あるべき時です。縁は従うものであり導かれるべきものです。そこに自我が入る余地はありません。人事は尽くしても最後はすべて天命に任せるしかありません。私は信念を貫き果敢に挑戦する人生を選択してきました。その結果がよかったのはやはり運に任せたりなりゆきに従ったことが幸いしたと思います。あるがままな

されるがままの(坐) 禅的生活と攻めて攻めまくる(修) 行的生活の二重構造こそが禅僧の生き方なのではないでしょうか。当院はしがらみがなく働く人はみなさん生き生きしていていつも楽しそうです。またそういう人しか逆に勤まらないのが見性院かと思います。現代の禅寺をつくります。自由自在 自由奔放な世俗を超越した空間を構想しております。スティーブ・ジョブズが創業したアップル社は円相をモチーフに社屋が設計されました。まるで宇宙空間です。私も斬新な突拍子もないアイデアでこれからも世の中の人たちを驚かせあっと言わせたいと密かに目論んでおります。今年度も大いに期待してください。常に仕掛けます。意表を突きたいものです。まだまだやります。

合掌

令和5年4月1日

見性院住職

